本丸中学校　２年　馬場　浩平（ばば　こうへい）

原子爆弾の投下。一瞬にして広島の街と人々の尊い命が奪われました。再現映像や写真、目を背けたくなるような惨劇を目の当たりにし、胸が詰まり、とても悲しく、切ない思いになりました。

大切な人の命を奪う戦争や原爆という過ちを二度とくり返してはならないと思うと同時に今、自分が生きていることに喜びと感謝を感じています。

この悲惨な歴史を風化させないために、後世へと語り継いでいく責任が私たちにはあると強く感じました。

第一中学校　３年　加藤　大幹（かとう　だいき）

広島原爆ドームは戦争の悲惨さと様々な思いを形にしたものだった。広島で起きたことは絶対に忘れてはならない。忘れないためにはどうすればよいだろうか。私は広島に行くまでは体験した人が後世に伝えればよいと思っていた。だがそれは戦争体験者の高齢化によって難しくなっている。だから私は歴史を形として残すこと、それらを自分の目で見ることが大切だと考える。広島に行って歴史を見ることで私は、心を変えることができた。

猿橋中学校　３年　相馬　礼弥（そうま　らいや）

何もない日常生活を送っていた朝、一発の原子爆弾が投下されました。一瞬で幸せが消え去り、多くの悲しみに包まれました。

「伝えてください」

被爆から七十三年が経過し、原爆の恐ろしさや悲惨な光景が忘れられつつあります。平和な世界であるからこそ次の世代へ語り継ぐ必要があるのです。

東中学校　３年　長谷川　楓真（はせがわ　ふうま）

八月六日八時十五分。広島は赤と黒だけの世界となりました。それから七十三年が経った広島で、私は平和記念式典に参加してきました。資料館には、目をそむけたくなるような物や写真が展示されていました。人も物も元の姿とは一変してしまう、それが原爆の恐ろしさなのだと感じた。今回の学びから、普段の生活ができる事や、夢をもてることに感謝して過ごしていきたいと思いました。原爆で苦しむ人がもうでないことを願います。

川東中学校　３年　佐藤　冠汰（さとう　かんた）

73 年前の八月六日、八時十五分。広島に一発の原子爆弾が落とされ、多くの罪のない命が失われた。私は、今回の広島派遣で、原子爆弾がどれだけ恐ろしい物だったか、どれだけの人を苦しめているかが分かった。後遺症に苦しむ人、精神的に苦しむ人々。原爆投下直後の状況がどれだけひどい物だったかを知った。そして、このような惨劇を繰り返してはいけない、そのために、私達が後世に語り継いでいかなければならないと思う。

七葉中学校　３年　本間　優人（ほんま　ゆうと）

多くの命と広島の街を奪っていった原子爆弾が投下されてから 73 年。このような惨劇を二度と起こしてほしくないという思いで平和記念式典に参列した。

資料館見学、平和記念式典参列を通して、改めて原爆の恐ろしさを感じた。同時に、平和の大切さも感じた。世界で唯一の被爆国である日本が核兵器の恐怖を進んで世界に発信していかなければならない。そのためには、私たちの若い世代も後世に伝えていくべきだと感じた。

佐々木中学校　３年　坂井　結喜（さかい　ゆうき）

七十三年前、広島に一発の原子爆弾が落とされ、活気にあふれていた町が一瞬にして破壊された。私は平和記念式典に参加し、改めて平和の大切さを知ることができた。資料館には、溶けたガラスの瓶や、火傷をおった子供の写真といったものが多く展示してあった。どれも「二度と戦争をしてはいけない」と訴えているように感じた。

私たちは核兵器や戦争がどのようなものか語り継いでいかなければならない。

豊浦中学校　３年　渡邉　陽（わたなべ　よう）

多くの人々が長い歳月をかけて築いてきた広島。たった一発の原子爆弾によって町は一瞬にして破壊され、多くの命、希望と夢といった明るい未来が奪われました。

平和式典の参加や平和記念資料館の見学を通し、原爆や戦争の悲惨さ、命や平和の尊さを肌で感じ取ることができました。二度とこのような悲劇が起こらないために私たちができることを考えていきたいと思います。

紫雲寺中学校　３年　藤田　琉士（ふじた　りゅうと）

爆弾の威力をはるかに上回る原子爆弾、その原子爆弾が七十三年前の八月六日、午前八時十五分に広島に落とされた。もう二度とこのような悲劇をくり返してはならないと感じた。戦争というのは、尊い多くの命が失われるというとても恐ろしいことだ。誰もが幸せとはとうてい言えない、そんなにも恐ろしいことなのだ。被害者の平均年齢は八十を越え、後世に伝えるということが難しくなっている。そんな時代だからこそ、若い私たちが伝えていかなくてはならないのではないか。そう考えさせられた。本当に昔、日本でこういうことがあったんだと、しっかり受け止めなくてはならないと思った。

加治川中学校　３年　大岡　秀喜（おおおか　ひでき）

広島に原子爆弾が投下されて 73 年。私は平和式典に参加してきました。そして、資料館などを見学してきました。そこには当時の写真や、絵、ボロボロになった服などがありました。当時の写真を見たときこんな光景をもう見たくないと強く思いました。今、原子爆弾が世界のどこかに落とされたら広島におきたこと以上の悲惨なことになります。そのようなことがおこらないように、これからも平和であるように願うことからスタートしたいです。